

JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.141)

1. 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

当施設で実施するPCB廃棄物の処理については、国の計画に基づき平成17年9月に操業を開始してから11年目に入りました。昨年は、当施設での操業は大変順調であり、安全操業を継続するとともに、当初計画を上回る実績を上げることができました。これもひとえに我々の事業に対する市民の皆様のご理解があつてこそと感謝しております。

また、平成26年度に変更になりましたPCB廃棄物処理基本計画の処理促進策に従い、年明けから大阪事業エリア内のポリプロピレンコンデンサの当施設での処理も開始されます。この新たな取り組みも含めまして、今後も、安全で確実な処理の確保を前提に、高濃度PCB廃棄物の処理をできるだけ早期に終了できるよう、さらに努力してまいります。

本年も、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

平成28年1月

豊田PCB処理事業所長 石垣喜代志

2. 施設見学のご案内

平成27年度第3四半期の施設見学者数

	10月	11月	12月	計	4~12月計
団体数	7団体	9団体	4団体	20団体	51団体
見学者数	37名	55名	15名	107名	340名

保管事業者の皆様をはじめ、行政や各団体など、多くの方々に当施設をご見学いただきました。施設見学を通じてPCB廃棄物の処理状況等について理解を深めていただいております。

11月25日(水)には、豊田市議会議員10名の皆様に視察していただきました。右の写真は、情報公開ルームで収集運搬の監視状況について説明しているところです。

施設見学をご希望の方は【豊田PCB処理事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。



3. 豊田PCB廃棄物処理施設 秋期定期点検のご報告

●災害防止協議会の開催

12月4日から12月27日までの定期点検開始に先立ち、11月24日(木)に、作業を実施する各社の担当者が一堂に会して「災害防止協議会」を開催しました。

この協議会は、定期点検期間中の作業において事故や災害を発生させないことを目的に開催しており、基本的なルールや安全対策などを確認しました。

また、この定期点検期間中には週1回のペースで安全パトロールを行い、作業が安全に行われているか、更なる改善事項がないかを作業現場で確認しています。



●主な点検・工事の実施内容

JESCOでは、昨年度の処理期限延長に伴い、処理が終わるまで設備を健全に作動させるための長期保全計画を立案しました。この計画に基づいて、秋期定期点検時に実施した2件の点検・工事についてご紹介します。

・第3循環オイルクーラー点検・整備

真空加熱でガスとして分離したPCBをオイルスクラバで冷却・捕捉します。

右写真は第3循環オイルクーラーで、スクラバ油を冷却するための装置です。

これは、真空加熱装置の上部に設置されているので、内部部品を取り出すための架台を設置して作業を行いました。



・オイル回収塔排気第1凝縮器交換

オイル回収塔排気第1凝縮器は、蒸留設備の1つであるオイル回収塔で蒸発・分離させた溶剤を冷却して再び液体に戻すための装置です。

徐々に内部の腐食が進行していくため、事業終了時期を見越し、今回新品と交換しました。



デジ丸

問い合わせ先

アザラシのピーちゃん

中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話:0565-25-3110 FAX:0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>